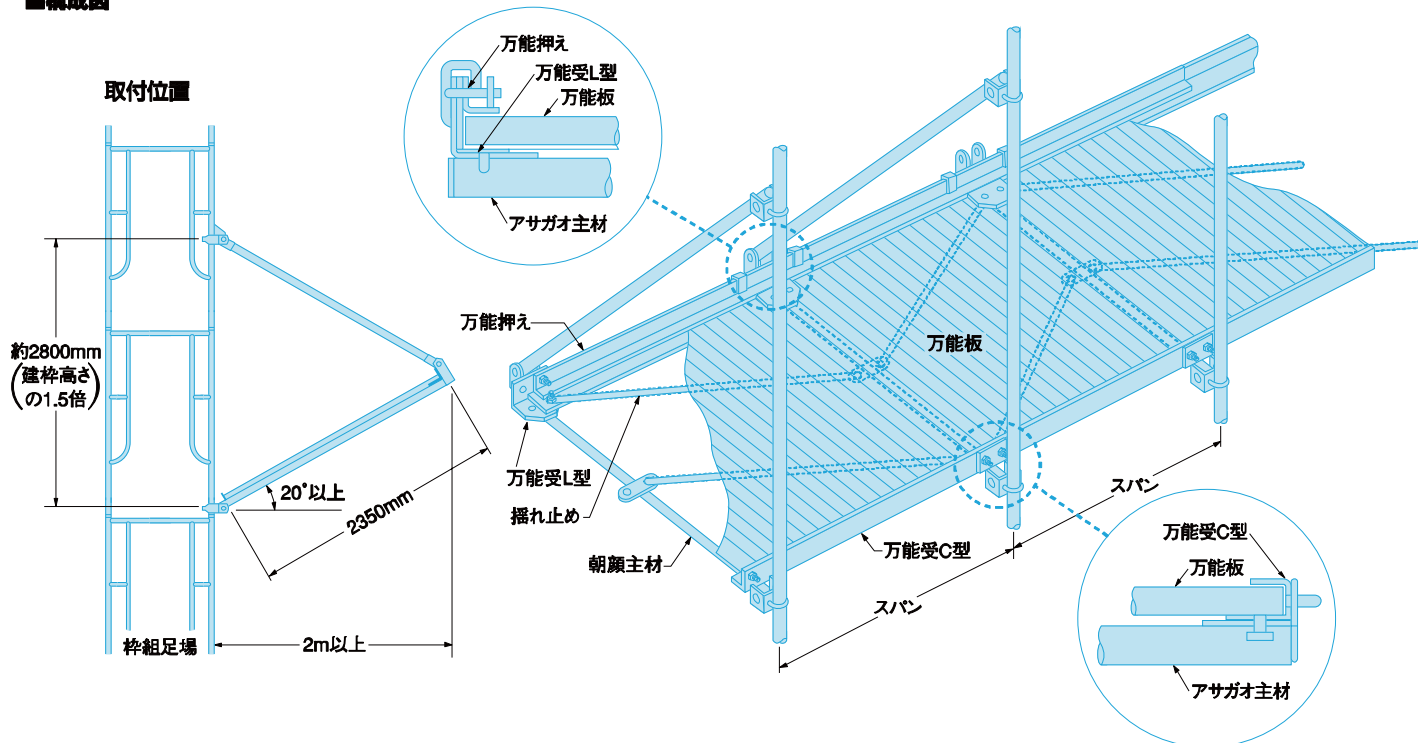
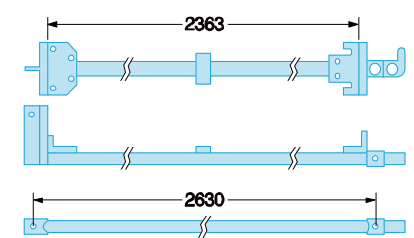


朝顔部材 (1スパン重量100kg)

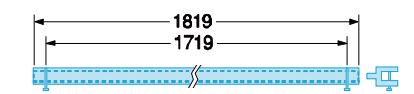
■構成図



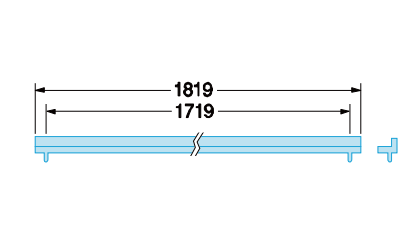
品名	朝顔主材
規格	A-2350
製品重量	16.0kg



品名	万能受C型
規格	A-2006D
製品重量	6.5kg



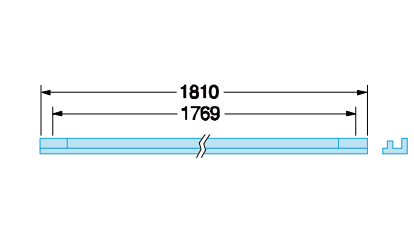
品名	万能受L型
規格	A-2006A
製品重量	5.5kg



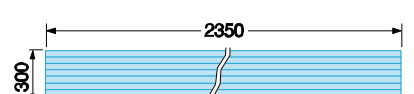
品名	揺れ止め
規格	A-2306C
製品重量	2.0kg



品名	万能押え
規格	A-2006B
製品重量	4.0kg



品名	万能板
規格	S-2350
製品重量	12.2kg



■朝顔各スパン部材表 (連続的に養生する場合)

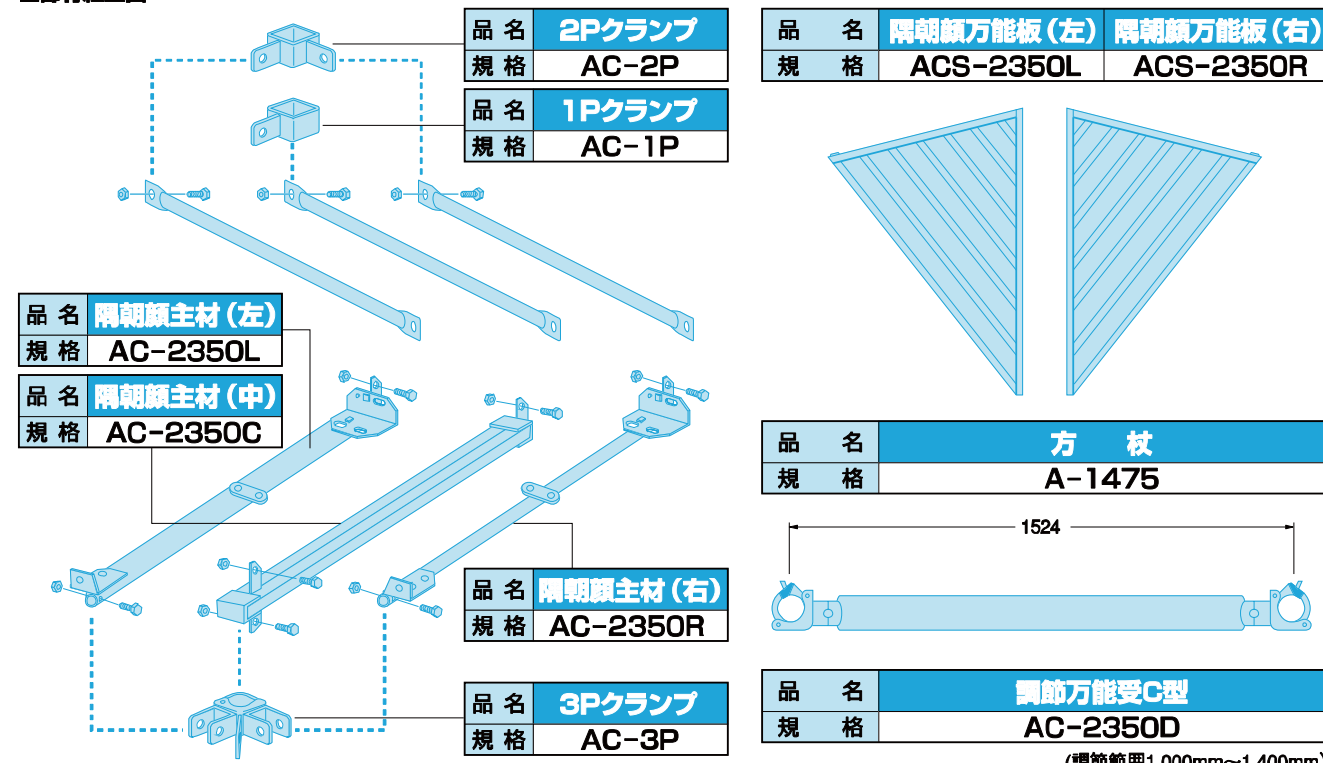
品名	規格	1スパン	2スパン	3スパン	4スパン	5スパン
朝顔主材	A-2350	2	3	4	5	6
万能受L型	A-2006A	1	2	3	4	5
万能押え	A-2006B	1	2	3	4	5
万能受C型	A-2006D	1	2	3	4	5
揺れ止め	A-2306C	2	4	6	8	10
朝顔万能板	S-2350	6.1	12.2	18.3	24.4	30.5

(1524, 1219, 914スパン用もあります。)

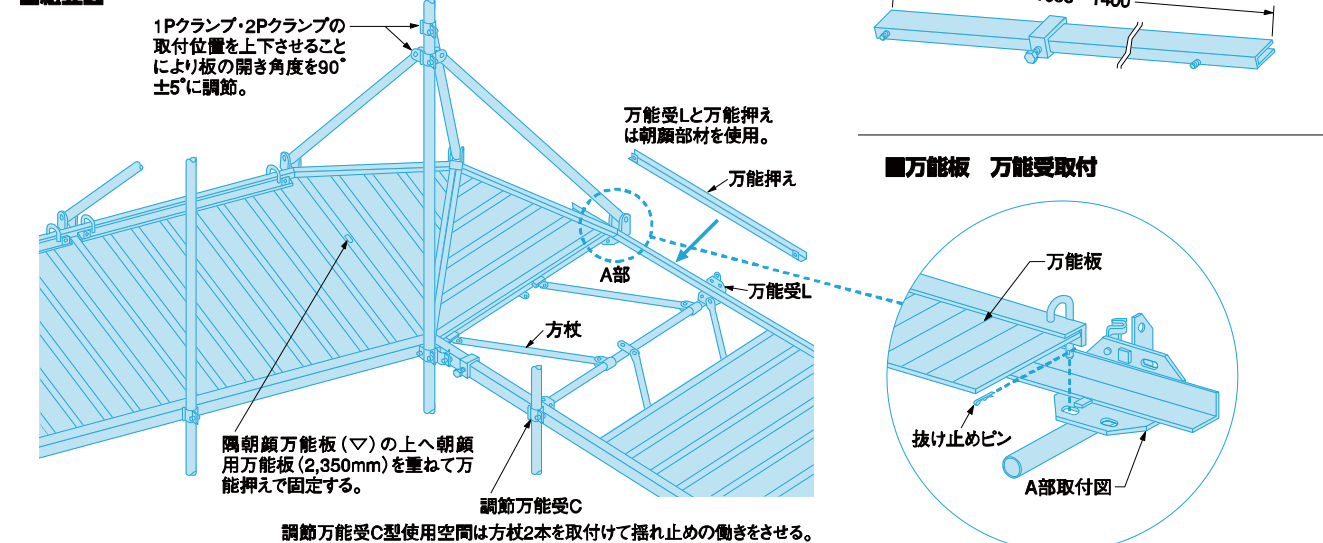
●1スパンの重量は約100kgです。

隅朝顔 (1セット重量120kg)

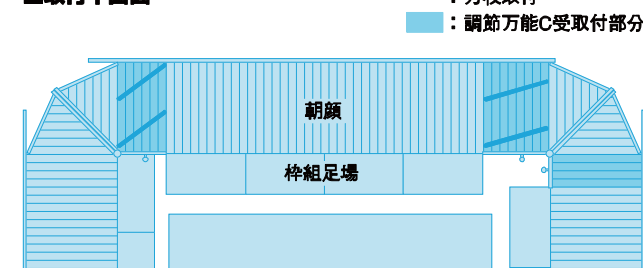
■部材組立図



■組立図



■取付平面図



- 2方向からの枠組足場の角(かど)がそろうようにする。
- 上図のように枠組足場がそろうない時は、足場の延長交点に単管を立てた隅朝顔を組立てる。

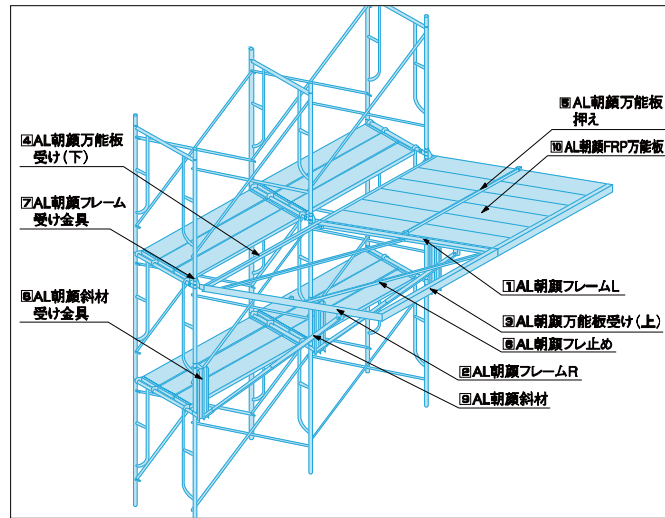
品名	規格	1スパン数量	重量(kg)
隅朝顔主材	(右) AC-2350R	1	15.0
	(中) AC-2350C	1	18.0
	(左) AC-2350L	1	15.0
調節万能受C型	AC-2350D	1	6.5
方 杖	A-1475	2	5.0
万 能 板	(右) ACS-2350R	1	30.0
	(左) ACS-2350L	1	30.0
1Pクランプ	AC-1P	1	1.0
2Pクランプ	AC-2P	1	1.0
3Pクランプ	AC-3P	1	1.5

●1スパンの重量は約120kgです。

アルミ朝顔

〈西宮センター保有品〉

■構成図



■直線部 部材数量 (1スパン辺り)

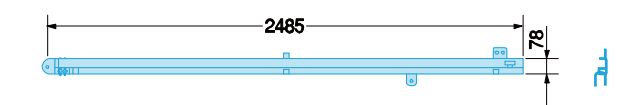
品名	規格	数量	重量(kg)
① AL朝顔フレームL	ASA-L	1	6.0
② AL朝顔フレームR	ASA-R	1	6.0
③ AL朝顔万能板受け(上)	ALA318	1	4.3
④ AL朝顔万能板受け(下)	ALA418	1	3.7
⑤ AL朝顔万能板押え	ALA518	1	1.8
⑥ AL朝顔フレ止め	ALA618	2	2.1
⑦ AL朝顔フレーム受け金具	ALA7A	1	1.9
⑧ AL朝顔斜材受け金具	ALA8A	1	8.3
⑨ AL朝顔斜材(直線・隣兼用)	ALA9A	2	3.6
⑩ AL朝顔FRP万能板	ALAF1A	6	5.0
1スパン重量合計			73.4

※引き上げロープは別途用意してください。

■部材表

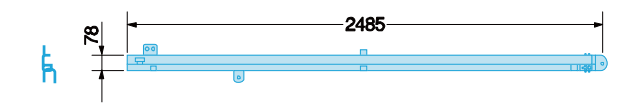
① AL朝顔フレームL

ASA-L 6.0kg



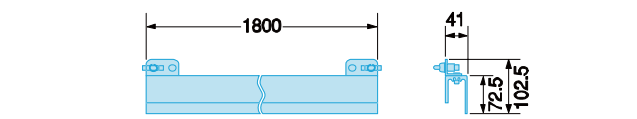
② AL朝顔フレームR

ASA-R 6.0kg



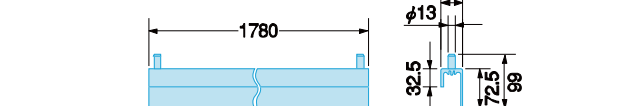
③ AL朝顔万能板受け(上)

ALA318 4.3kg



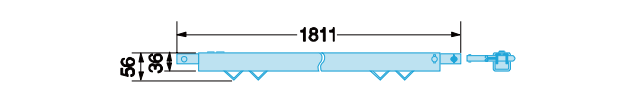
④ AL朝顔万能板受け(下)

ALA418 3.7kg



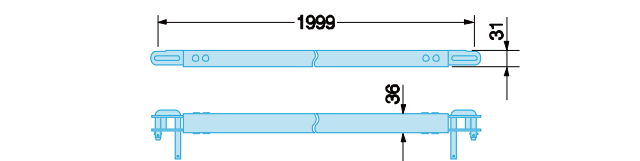
⑤ AL朝顔万能板押え

ALA518 1.8kg



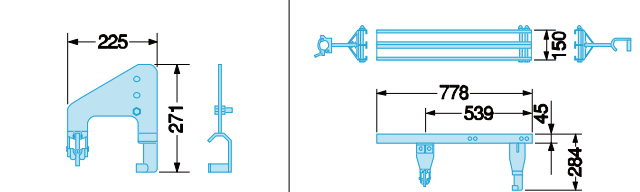
⑥ AL朝顔フレ止め

ALA618 2.1kg



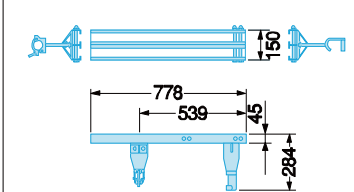
⑦ AL朝顔フレーム受け金具

ALA7A 1.9kg



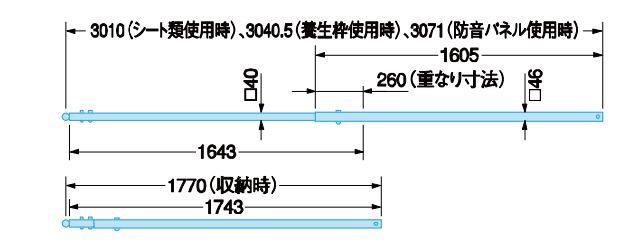
⑧ AL朝顔斜材受け金具

ALA8A 8.3kg



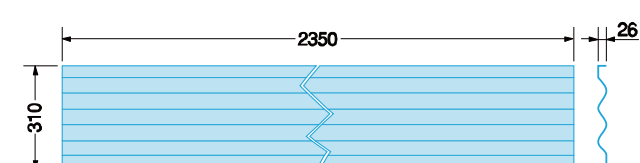
⑨ AL朝顔斜材

ALA9A 3.6kg



⑩ AL朝顔FRP万能板

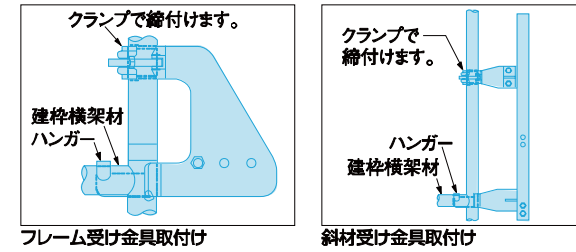
ALAF1A 5.0kg



■組立手順

- 必要工具 1. ラチェット 17×21 (3/8×1/2) 2. スパナ 17×21 (3/8×1/2)
3. ロープ(5m程度)2本1セット 4. その他一般工具

1 フレーム受け金具、斜材受け金具を建枠の横架材に取付けます。

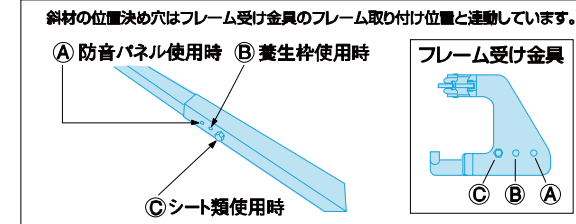


フレーム受け金具取付け

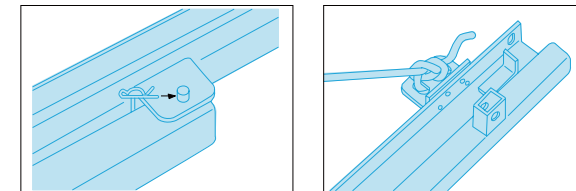
斜材受け金具取付け

2 フレームL (R) と斜材をセットします。

①斜材のスライド管を引き伸ばし、ボルトで固定します。

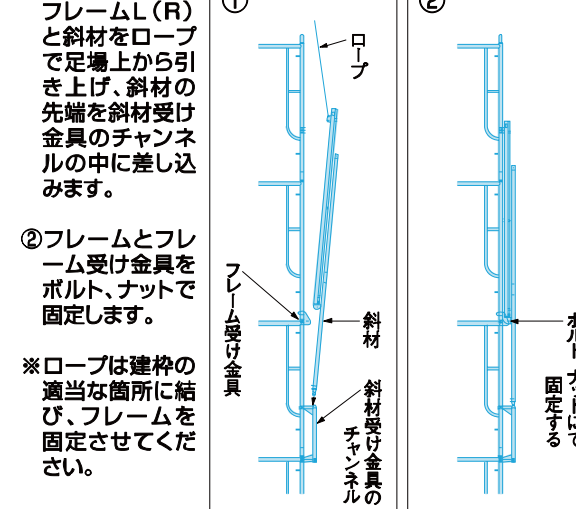


②斜材についているピンでフレームと連結し、フレームの先端にロープを取付けます。



3 フレームL、Rを取付けます。

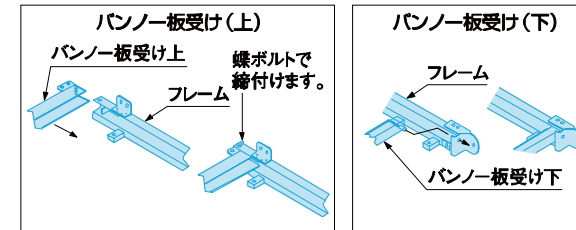
①順2でセットしたフレームL (R) と斜材をロープで足場上から引き上げ、斜材の先端を斜材受け金具のチャンネルの中に差し込みます。



②フレームとフレーム受け金具をボルト、ナットで固定します。

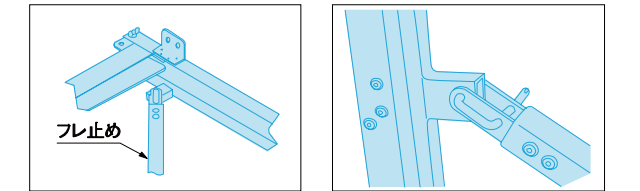
※ロープは建枠の適当な箇所に結び、フレームを固定させてください。

4 パンノー板受け(上)、(下)を順次足場内より取付けます。



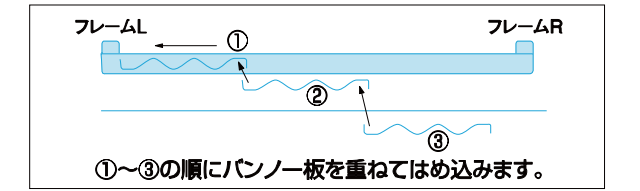
5 フレ止めを1スパンに2本ずつセットします。

※どちらの方向にも取付けられますが、全体の流れを考慮して取付けてください。

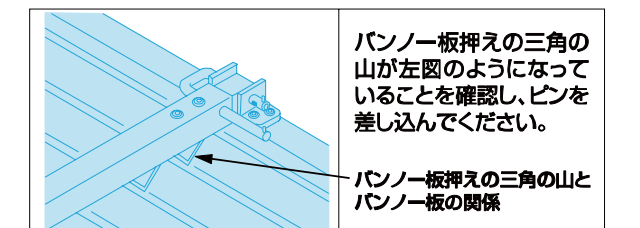


6 パンノー板を取付けます。

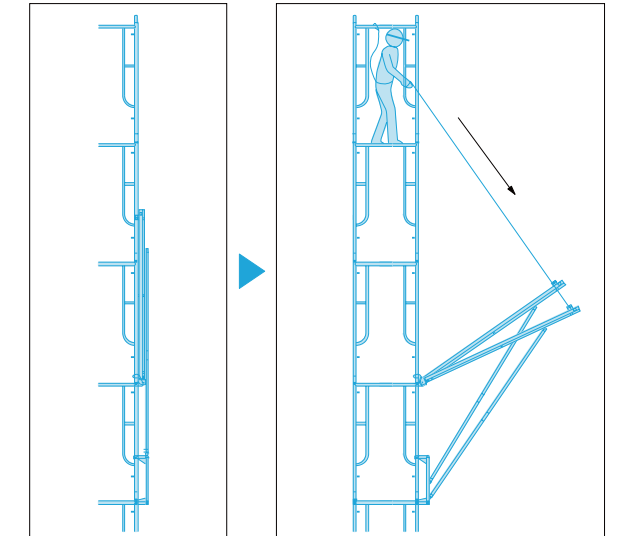
下図のようにパンノー板の先端をパンノー板受け(上)に差し込み、下部のパンノー板受け(下)へ載せます。



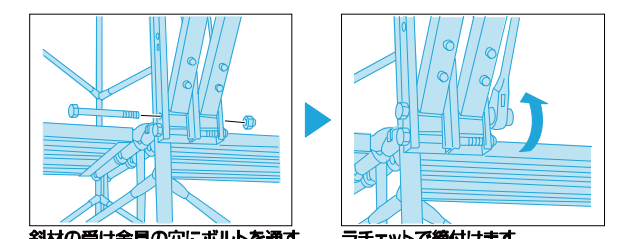
7 パンノー板押えをセットします。



8 ロープを左右均等に纏めながらフレームL、Rを、前方に倒しアサガオを下げます。



9 斜材の吹き上げ防止のボルトを取付けます。



斜材の受け金具の穴にボルトを通す。ラチェットで締付けます。

枠組足場

パイプ類

鉄骨足場

移動式足場

吊足場

支保工

仮囲い・ゲート

梯子・脚立・可搬式作業台

その他

(社)仮設工業会 認定合格書二覧

資料集

資料集

枠組足場

パイプ類

鉄骨足場

移動式足場

吊足場

支保工

仮囲い・ゲート

梯子・脚立・可搬式作業台

その他

(社)仮設工業会 認定合格書二覧

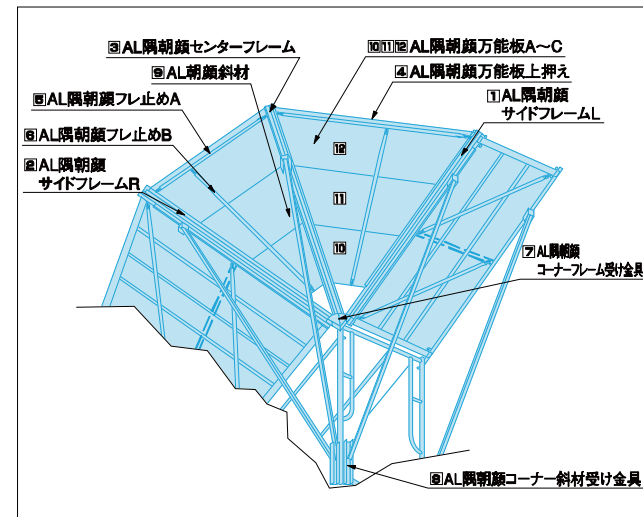
資料集

資料集

アルミ隅朝顔

〈西宮センター保有品〉

■構成図



■部材表

1 AL隅朝顔サイドフレームL ALAC1LA	8.9kg
2 AL隅朝顔サイドフレームR ALAC2RA	8.9kg
3 AL隅朝顔センターフレーム ALAC3A	12.0kg
4 AL隅朝顔万能板上押え ALAC4	1.7kg
5 AL隅朝顔フレ止めA ALAC5	1.7kg
6 AL隅朝顔フレ止めB ALAC6	1.9kg

■コーナー部 部材数量 (1セット辺り)

品名	規格	数量	重量(kg)
1 AL隅朝顔サイドフレームL	ALAC1LA	1	8.9
2 AL隅朝顔サイドフレームR	ALAC2RA	1	8.9
3 AL隅朝顔センターフレーム	ALAC3A	1	12.0
4 AL隅朝顔万能板上押え	ALAC4	2	1.7
5 AL隅朝顔フレ止めA	ALAC5	2	1.7
6 AL隅朝顔フレ止めB	ALAC6	2	1.9
7 AL隅朝顔コーナーフレーム受け金具	ALA7A	1	5.4
8 AL隅朝顔コーナー斜材受け金具	ALA8A	1	14.6
9 AL隅朝顔斜材 (直線部と同仕様)	ALA9A	1	3.6
10 AL隅朝顔FRP製万能板A (FRP)	ALAF21	2	3.0
11 AL隅朝顔FRP製万能板B (FRP)	ALAF22	2	5.0
12 AL隅朝顔FRP製万能板C (FRP)	ALAF23	2	8.0
1セット重量合計			96.0
AL隅朝顔裏側フレーム受け金具	ALA7TA	1	1.6
AL隅朝顔裏側斜材受け金具	ALA8TA	1	5.5

※引き上げロープは別途用意してください。

7 AL隅朝顔コーナーフレーム受け金具 ALAC7A	5.4kg	8 AL隅朝顔コーナー斜材受け金具 ALAC8A	14.6kg
10 AL隅朝顔万能板 A ALAF21	3.0kg	11 AL隅朝顔万能板 B ALAF22	5.0kg
12 AL隅朝顔万能板 C ALAF23	8.0kg		

■裏側用金具

AL隅朝顔裏側フレーム受け金具 ALA7TA	1.6kg	AL隅朝顔裏側斜材受け金具 ALA8TA	5.5kg
----------------------------------	-------	--------------------------------	-------

■組立手順

- 必要工具 1. ラチェット 17×21 (3/8×1/2) 2. スパナ 17×21 (3/8×1/2)
3. ロープ (5m程度) 2本1セット 4. その他一般工具

1 コーナーフレーム受け金具、コーナー斜材受け金具を建枠の横架材に取付けます。

2 センターフレームと斜材をセットします。

①斜材のスライド管を引き伸ばし、ボルトで固定します。
※斜材のスライド管を引き伸ばし、固定する穴の位置は、必ずP18-2で表示しておりますシート類使用時の◎の位置に固定してください。

②斜材についているピンでセンターフレームと連結し、センターフレームにロープを取付けます。

3 センターフレームを取付けます。

順2でセットしたセンターフレームと斜材をロープで足場上から引き上げ、斜材の先端をコーナー斜材受け金具のチャンネルの中に差し込みます。

4 サイドフレームを取付けます。

①サイドフレームの先端にロープを取付け、足場板より持ち上げます。

②取付けられたセンターフレームにサイドフレームL (R) を差し込み、しっかりと下に押し付けます。

5 フレ止めAとBをセットします。

①センターフレームとサイドフレームの上部にフレ止めAを取付けます。

②フレ止めAの中央とコーナーフレーム受け金具にフレ止めBを取付けます。

6 パンノー板A、B、Cを取付けます。

パンノー板をAから順にB、Cとセンターフレームとサイドフレームの溝にはめ込みます。

7 パンノー板押えをセットします。

センターフレームとサイドフレームの先端にパンノー板上押えをセットします。

8 コーナーアサガオを降ろし広げます。

①センターフレームを前に押し出し、コーナーアサガオをたたむようにしながら全体を降ろします。

②センターフレームが完全に降りたらサイドフレームのロープを緩めて行き、隣の直線部アサガオのフレームにかぶせて行きます。

9 直線部同様、必ず斜材の吹き上げ防止のボルトを取付けてください。

※サイドフレームは、動かないようにロープで建枠の適当な箇所に結び、固定してください。
※取付ける順序はL、Rに関係ありません。

枠組足場

パイプ類

鉄骨足場

移動式足場

吊足場

支保工

仮囲い・ゲート

梯子・脚立・可搬式作業台

その他

(社)仮設工業会認定合格書

資料集

枠組足場

パイプ類

鉄骨足場

移動式足場

吊足場

支保工

仮囲い・ゲート

梯子・脚立・可搬式作業台

その他

(社)仮設工業会認定合格書

資料集